

デジタルアーツ、「i-FILTER」シリーズのフィルタリングカテゴリに

「生成 AI カテゴリ」を追加、12月23日より標準搭載

～生成 AI サイトの一括での許可・ブロックや、特定の生成 AI の許可がより簡潔に可能に～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、フィルタリングソフト「i-FILTER」シリーズ※1のフィルタリングカテゴリに「生成 AI サービス」を追加し、企業や個人で普及の進む生成 AI に対するセキュリティ機能の強化を実施しました。

既に「i-FILTER」シリーズに実装されている「AI チャットフィルター」の機能と合わせることで、企業や自治体、学校における生成 AI のセキュリティ対策を万全にし、安全な利用環境や、生産性向上、学習促進にさらなる貢献をいたします。



生成 AI 利用者数の増加と想定される課題

生成 AI は、従来の AI では難しかった文章などを自動的に作り出すことができ、資料の作成などさまざまな業務の効率化が進むと期待されています。日本国内における生成 AI の利用は増加しており、ICT 総研の調査(下図)によると 2024 年の時点で 1,924 万人が利用、2027 年末までに 3,760 万人の利用が見込まれると推計されています。



引用:株式会社 ICT 総研

「2024 年度 生成 AI サービス利用動向に関する調査」(<https://ictr.co.jp/report/20240830.html/>)

一方で、企業や行政機関が生成 AI を活用する際には、機密情報や個人情報の漏えいなどの課題もあり、学校現場においては学習効果への影響も懸念されています。また、生成 AI のシャドーIT(従業員が企業の管理下でない IT 機器やサービスを利用すること)化防止も重要です。

生成AIの利活用における課題

個人情報・機密情報の漏えい

入力したデータがサービス提供会社やユーザーに漏えいし、サイバー攻撃に悪用される可能性

シャドーIT

企業としての利用を許可/不許可に関わらず、従業員が勝手に生成AI利用している可能性

学習効果への影響

生成された内容に誤りがある可能性や、自主的な思考を妨げる可能性

※1…「i-FILTER」シリーズのラインアップは「i-FILTER」、「i-FILTER@Cloud」、「i-FILTER@Cloud GIGA スクール版」、「i-FILTER ブラウザー&クラウド」となります。

「i-FILTER」における生成 AI セキュリティを強化

今回の機能強化により、「i-FILTER」シリーズのセキュリティ対象となるカテゴリに「生成 AI サービス」を追加し、生成 AI にかかわるサービスを一括でブロック、もしくは許可することが可能になりました。

一般的なWebセキュリティ製品では「一括ブロック」の設定をした場合、特定の生成 AI サービスを使用するためには URL を個別で設定することが必要でしたが、「i-FILTER」シリーズ上では「生成AIサービスカテゴリ」をブロック設定にし、既存機能である「Webサービス制御」にて、特定の生成 AI サービスの使用を許可することで、組織が許可した生成 AI サービスのみ利用させる運用を簡潔な設定で実現可能です。

一括設定 (未選択) アクション (未選択) プリセット 追加 削除

サービス名	認証	有効	機能名	アクション	許可カテゴリ名	リスク
<input type="checkbox"/> OpenAI (ChatGPT)		ON	OpenAI ChatGPT (生成AI)	許可	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			OpenAI ログイン	許可	なし	2
			ChatGPT 未登録利用 (生成AI)	ブロック	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			ChatGPT ファイルアップロード	ブロック	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	4
<input type="checkbox"/> Microsoft Copilot		ON	Microsoft Copilot (生成AI)	許可	ビジネス向けWebアプリケーション/検索エンジン/生成AIサービス	2
			Microsoft Copilot ファイルアップロード	許可	画像・動画検索エンジン/ビジネス向けWebアプリケーション/検索エンジン/生成AIサービス	4
<input type="checkbox"/> Gemini (Google Bard)	ISO/IEC 27001 ISO/IEC 27017 ISO/IEC 27018 ISO/IEC 27701 SOC 1 SOC 2 SOC 3	ON	Gemini (生成AI)	許可	ビジネス向けWebアプリケーション/生成AIサービス	2
			Gemini ファイルアップロード	ブロック	ビジネス向けWebアプリケーション	4

生成 AI のスマートな利活用をさらにセキュアに促進

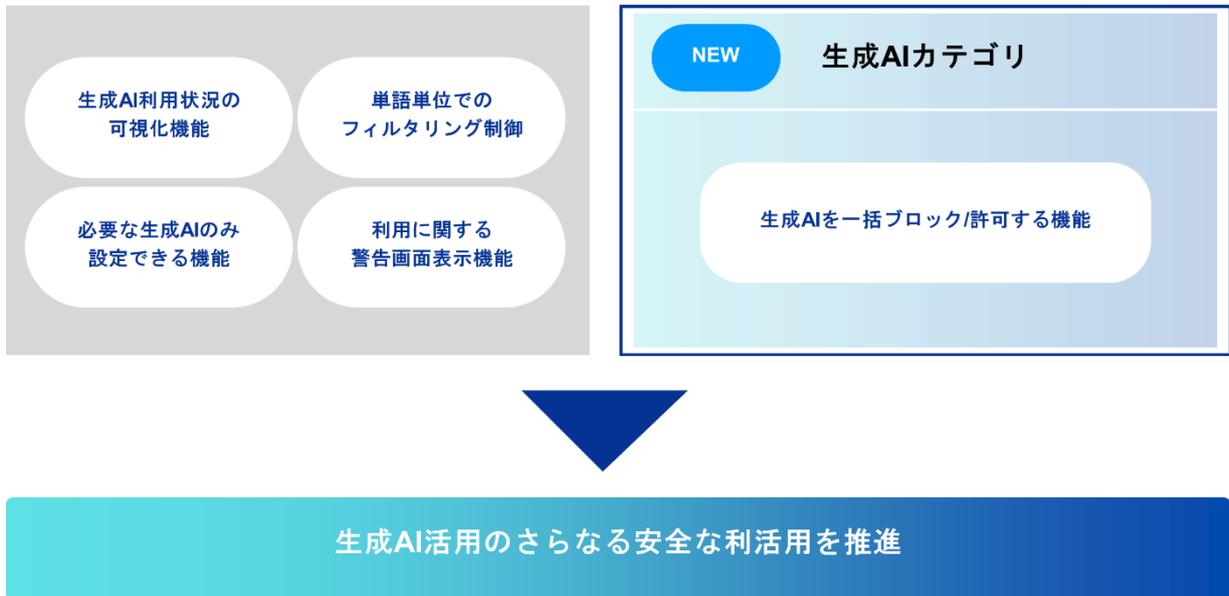
デジタルアーツは 2023 年、生成 AI サービスのためのセキュリティ機能である「AI チャットフィルター」を開発し「i-FILTER」シリーズに標準搭載しました。これにより、生成 AI へのチャット投稿の単語、投稿内容に対する制御や利用状況のグラフィカルな可視化、サービスアクセス時の警告画面表示などが可能になりました。

また、「i-FILTER」シリーズのフィルタリングデータベースは検索サイトでヒットする国内 Web サイトの URL をコンテンツの URL ま
で含めてデータベース登録、カテゴリ分類することにより、高精度かつ高網羅率(99.85%※2)を維持する仕組みを持っています。

生成 AI 関連サービスについても、国内で利用されるサービスについては網羅できており、今後新たな生成 AI 関連サービスが
誕生した際にも、フィルタリングデータベース同様、網羅率を維持できるように対応し、セキュリティ対策と利便性を両立させます。

デジタルアーツは、今後も社会課題に対するセキュリティ製品を提供することで、快適で安全な生成 AI 利用、インターネット利
用を促進してまいります。

※2・2024 年 1 月末時点



生成 AI の動向、安全な利用に向けたセミナーを 12 月 25 日に開催予定

以下セミナーを 2024 年 12 月 25 日に実施予定です。

デモを交え、「i-FILTER」シリーズの新カテゴリ「生成 AI サービス」の設定方法についても解説を行います。

セミナータイトル:【2024 年 生成 AI の動向を一挙振り返り！】いま求められる生成 AI の安全な業務利用とは
お申込み:【[こちらの申し込みフォーム](#)】に必要事項をご入力の上、ご参加ください。

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。
1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、情報漏えい対策や標的型攻撃をはじめとするサイバー攻撃対策を実現する最先端の製品を、企業・官公庁・学校・家庭向けに提供しています。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報担当 畑楠・関 TEL : 03-5220-1670 / E-mail : press@daj.co.jp

※デジタルアーツ株式会社の製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等登録商標または商標は以下弊社 Web サイトに記載しております。
<https://www.daj.jp/sitepolicy/>

※その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。